

# 京阪神東雲

鳥取県立鳥取東高等学校同窓会  
東雲会京阪神支部会報●第7号

<http://www.asahi-net.or.jp/~hf3s-okd/higashi/>  
連絡先 岡田俊一(12回)  
神戸市垂水区神和台2-2-9



▲平成15年度・総会風景 2003/11/15「東洋ホテル」にて

## 特集

### 返信葉書(平成15年度)の 近況報告から

昨年いただいた会員諸兄姉の近況です。多くの方からお葉書を頂きました。1年遅れですが会員の近況をお読みください。懐かしい名前をみつけたら、お電話は?

\* \* \*

**柏葉** 今のところ元気にしております(5回/福井正信)◆昨年米寿を迎えました。年齢に負けないように野菜作りや能勢の山野をハイキング等で元気に過ごしております(6回/横木哲三)◆ついこの間まで“健康そのもの”であったが、急に足の皮膚病にかかり多少なりともボケも迎えてきました。もう、同期も少なくなり寂しい限り(7回/村田美雄)◆87才を迎えたが他人様にあまりお世話にならなくて生活しています。高血圧・ぜんそくであまり無理が出来ませんが同窓会

も残存者が少なくなり心細く思います。皆様のご活躍を祈ります(8回/釜谷義治)◆10数年来の体調不良で友人知人に迷惑のかけ放しです。最近同窓会館が新築された旨の通知を頂きましたが、現在はおろか昔(昭和12年頃)の正門辺りの地形さえ容易に思い出すことができません(10回/森田四郎)◆幹事ごくろうさまです。よろしくお願ひします。旧二中の10回生ですが出席者では最高齢と存じます。東洋ホテルでは勤務していた会社

(旧日立造船)の社友会が毎年行われます(10回/片岡一郎)◆最近左膝関節痛の為静養中ですが出席したいと思います(12回/福原利)◆昨年末より病気をしてから現在療養中です。今後出席の見込みはありません(15回/北垣智造)◆何時もご苦労様です。11月に鳥取でクラス会がありますので今回は失礼させて戴きます(16回/田中彬夫)◆身体不調につき欠席します。盛会を祈ります(16回/瀧山哲二)◆お蔭様で元気に過ごしています(16回/井口芳明)◆京にきて3年、古都の風物に日を過ごす近頃です(16回/香川正澄)◆7月初から体

調を崩して自宅療養中です(16回/井上重由)◆妻と二人だけの生活にすっかり慣れてしましました。お蔭様で元気にゴルフや囲碁を楽しんでいます。いろいろの会合や行事で多忙に過ごしています(18回/佐々尾昭)◆東雲6号ありがとうございました。中原様の『二中時代の思い出』大変懐かしく拝見させて頂きました。私も香川先生の文法の授業で「良い本は今読まなくても買っておけ」と話されたお言葉は喜寿を迎えた今も読書への導きとなり生きています(18回/渡邊久也)◆体調に留意し日々何とか暮らしております(18回/山根昭一郎)◆平成15年7月10日柏19回クラス会を生存者90名中出席31名。老齢をものともせず旧交を温めました。次回の再開を約束して…(19回/河上義隆)◆ご盛会をお祈り申し上げます。日常は近くを散歩する程度でブラブラしております。「歩」は唯一の日課的なものでせめてこれが可能なうちを楽しんでいます。(21回/岡野巧)◆年を経て気力充実した二中時代自由な校風の中で練磨され感謝しています。松下村塾の時代と云い、公教育が根づいていることが民族の将来を決めますね(21回/田中和夫)◆同期は全員体調がすぐれず欠席させて頂きます。皆様のご健康を祈りつつ(21回/横山彰夫)◆年金生活どうにか老夫婦生活を営んでおります(22回/麻尾睦治)◆

至極健康にして日々を暮らしています(22回/蓮佛亨)◆総会案内・会報ありがとうございました。古希を過ぎてはるか遠い昔の紅顔の美(?)少年時代に束の間浸っています。上田剛先生、前田忠雄・横山・永見各先生の思い出話を懐かしく読ませて頂きました。私達は戦中・終戦・戦後の多難な時期を鳥取二中で過ごし学不足なれど素朴な思い出一杯です(22回/加嶋久)◆元気で過ごしております(23回/山本省二)◆「京阪神東雲」大変興味深く読ませて頂いています。15回中原様の「二中時代の思い出」諸先生の中に懐かしい先生のお名前を発見し中学時代の想いが蘇ってきました。戦中の入学試験「1年担任横山T、4年前田T」戦後の厳しい生活etc。近くに同期等の交流がなく出席しておりませんが思いは常に鳥取にあります。一昨年から家におり近くの孫たちのアッシーに努めています(23回/西尾将)◆70歳を

越えた年寄りの私が80~90歳の年寄りを集めて、一日々をいかに明るく楽しく過ごさせるかという高齢者福祉に努力している毎日です(24回/柳澤宏実)◆元気で老後を楽しんでおります。老兵は欠席とさせていただきます。総会の盛会を祈念します(24回/西川嘉道)

**山脈** 学校時代音楽受講の記憶がありませんが就職後始めたコーラス、仕事が多忙で3年余で中断。65歳の停年を機に再開。ボケ防止の一助にと続けています。今年は「ザ・シンホニー・ホール」で3月9月の2回の他にも出演、年末には「大阪城ホール一万人」にも出演予定と老後を楽しんでいます(1回/吉見敏宏)◆総会のお知らせ有難うございました。腰のヘルニアを患い体の不調を強く感じます。欠席いたしますがまた出席できます日を楽しみにしております(1回/高博教)◆多忙な毎日を送っています。鳥取へはよく帰ります。

甥が東高の理科の教師をしているのでよく母校の話などを聞き私の高校時代とは大変変わったなあと良い意味で感心しています(2回/多見恵美子)◆体調が不調で出歩くことができません。悪しからず(2回/吉村猛)◆楽しい会報ありがとうございます。総会には出席出来ませんが紙面で参加いたつもりでいます(2回/山本武彦)◆幹事

のお働き御世話さまです。今年もご案内頂き感謝いたします。私共、長らく住み慣れた古家を新築することになり生憎11月早々に仮住宅の方へ転居いたしますので多忙になります(3回/川岸美智子)◆不特定多数の人々を対象の歩こう会が富に増え、下調べ・下見会・地図作り等々で秋の週末は殆ど予定が入っています。おかげで頭が退化するいとまがありません(3回/井上欣宏)◆豊中市の町づくりに奉仕しています。環境問題を取り組んでいます。最近、豊中のケーブルテレビに出演して一言発言してきました。去年はオーストラリアに行きましたが今年は八戸・弘前・男鹿半島・角館等を廻る予定です(3回/山根恒男)◆堅調・健調にリタイア後の社会生活を進めています。鳥取大丸での個展が回を重ねていますが次は05年後期に開催予定です(4回/中村美登)◆教員生



活 41 年間を終え口舌の徒の一人としてやってきまので今は晴耕雨読、陶芸週一回のものづくりの生活へ転進中です(4回/太田敏輔)◆10月、11月は毎年各種予定が重なります。もっと早く決まれば調整できるのですが。最近やっとホームページを作つてみました。

<http://homepage3.nifty.com/io36>(5回/井上治)  
◆ホームページ京阪神の窓を楽しく拝見しています。最近、地域の有志と昔のご近所づきあいの延長のような「えんがわ」を開きました。勿論非営利です(5回/森本珠実)◆今年の会報はどんな話題なのかと毎年楽しみにしています。編集者の方々ご苦労さまです。やはり年のせいでしょうね(6回/久永浩)◆家内と2人細々と年金生暮らしをしております。これから先色々と不安もありますがせいぜい頑張って有意義な人生を送れる様努力したいと思っています(6回/藤原日出男)◆定年退職してから7年になります。公職から離れ囲碁や園芸などを楽しみながら過ごしています(6回/出井武也)◆病気再発のため4月に入院し現在自宅で療養中のために残念ながら欠席させていただきます(6回/山本順三郎)◆会報を手にして母校を懐かしく思える自分は幸せです。鳥取青葉台にセカンドハウスを持ってますが大阪も離れがたく思案中です(6回/稻墻崇子)◆65才(老人)を機に四国88ヶ寺巡拝をはじめました。だんだんお経もうまくなりだしました(7回/丹松克男)◆去年11月北区から須磨区に引っ越しました。元気にしております。買物の便利なところでウロウロしています(7回/浜田泰子)◆京都市の環境施設「京エコロジーセンター」で環境ボランティアをしています。環境保全には一人ひとりの生活スタイルや考え方を変える必要がありますが掲示案内や環境問題のプログラム作りを通じて環境にやさしい暮らしを広めるためにお役にたてればと思っています(7回/竹内正志)◆定年退職後続いて講師で3年間勤めたあとに退職をして、今はのんびりと気儘に過ごしております(7回/久保園八重子)◆健康体操と健身太極拳の会で毎日3時間は過ごしています。会員100名余。最も安価なレジャーとリクレーションもあります。4年前に発足しました(7回/谷圭三)◆9月は長崎の大村市でのトレイルオリエンテーリング大会、京都宝池でのオリエンテーリング大会、10月は箕面の山を山梨の須玉でオリエンテーリングに参加です。11/23からの作品展に向けて準備中です(8回/川向和可栄)◆毎日庭イギリ(草取り他)しています。又定年前の会社のOB会に出席(卓球大会、グランドゴルフ大会、バス旅行等)しています(8回/橋本恭輔)◆退職後ときどき非常勤講師をやっています(8回/三浦久志)◆定年

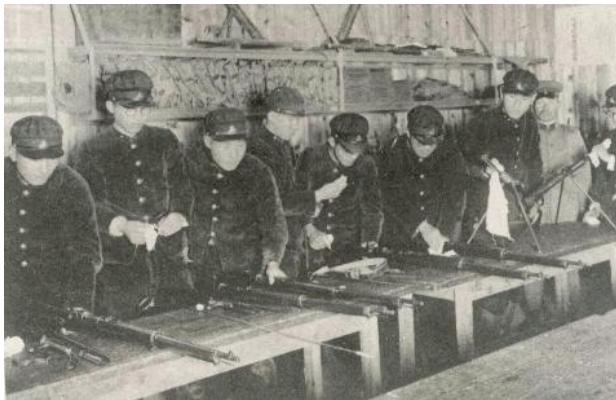
退職後二人の娘の孫の子守で関西と関東を往復する日々です。忙しいですが孫の成長がとても樂しみです(8回/下村美津江)◆孫も3人になりました(8回/大嶋正二郎)◆月一回鳥取の自宅との二重生活で老後はどうするか(もっともすでに立派な老後ですが)悩んでいます(9回/萬木けい子)◆63歳になりましたが病院のお世話になることもなく元気にボランティア活動(食生活改善)の会で皆様と一緒に頑張っております。15年度から大阪府の役員となり私なりの力を發揮するよう努力しております(9回/森本靖子)◆晴耕雨読の生活を送っています(9回/難波流行)◆当番幹事ご苦労さまです。会報は隅々まで読んでしまいます。小生、現在左脚と首の関節に痛みがあり大事をとっています(9回/垣本信夫)◆病後1年余り過ぎましたが毎日元気で仕事にインドア(スイミング等)に頑張っています。週に2日ボランティアで少年達30名余に剣道を指導しております(10回/博田譲二)◆会社勤めを9月末で辞めました。孫の顔が見たくなるといつでも出かけられる楽しみが増えました(10回/前田佳子)◆晴れて自由な身、好きなことを計画し行動に移す日々です。世界遺産をキーワードに世界の旅。この度、中国シルクロードを3500kmを車で走破。2000年、3000年前の遺跡に大満足。雲一つない真っ青の空の下。360度地平線の砂漠のど真ん中。過酷な自然はそこでの生活は大変だが旅する者にとっては大変すばらしく感動の連続です(10回/西尾康弘)◆案内状はふる里を想う唯一の機会です。感謝申し上げます。障害を持った人たちと関わって30年、感動と熱い夢を持ち続ける日々を過ごしています(10回/一軸さゆり)◆いつもご案内頂きながら欠席ばかりで申し訳ありません。なんとか元気で勤めています。いつか出席出来る日を楽しみに…(10回/中村恵子)◆会報楽しく読ませていただきました。特に倉恒先生の“古代東高思い出シリーズ”は懐かしく読ませていただきました。カードの胸の「名札」に思わず吹き出てしまいました。私方は留守番をしながらチェロを弾いたり合唱団に出掛けたりと今までとあまり変わりなく元気にやっています(10回/吉川紀美代)◆社会人になってから経験した草ラグビーのおかげで花園や神戸ユニバ等でラグビー観戦を楽しんでいます。今年はW杯の年、ジャパンには是非1勝してほしいものです(10回/段田太久根)◆定年退職して3年目になります。第2の人生はと、あれこれ試案しています(10回/岩崎素彦)◆本年5月末で銀行・関連会社での勤務を終了。現在地での生活も30年を超みました。疎遠だった地域との関わりを深めようと思い地元の老人ホームで勤務しています。旧交を暖めたいものと楽しみ

にしています(11回/萬知行)◆新しい病院ができました。当地の勤務12月で終了します。この会に4回出席させていただきました。ありがとうございました。又、別の病院の運営に向かいます(11回/湯村正仁)◆定年後無職ですが元気です。主婦に準じた主夫として家事多忙中です(11回/奥田修正)◆8月に鳥取の方に帰ってきましたのでもう京阪神東雲会には出席できなくなりました(11回/丸山弘子)◆今年6月末で定年退職となりました。毎日孫の子守で過ごしています(11回/河本浩)◆「ひかるの暮」以来、子供達の囲碁熱は盛んで小生も土日は子供囲碁教室の講師をしており時間がとれません(11回/福岡靖久)◆“地域まるごと健康づくり”をめざす医療生協活動へ協力に忙しい日々を過ごしています。朝から晩まで追われつづけていた仕事人間から退職後は一変して微力ながら地域づくりへお返しができれば…と思っています(11回/筒井節子)◆久しぶりに出席させて戴きます。還暦を去年迎えましたがお蔭様で毎日元気に忙しくしています。若い方のパワーを少しでも感じらばいいと前向きになり外へ外へと出かける様に心がけています(12回/横田英子)◆趣味のコーラスと孫の処へ行ったりあわただしく過ごしています(12回/田島多江子)◆今年は大学の学園祭と一緒にになりましたので出席することができません(12回/橋本弘之)◆7年前この会の当番幹事を致しました時、中心になって惜しみない実行力を発揮して下さった坂本彌さんが今年1月突然亡くなりました。同期の仲間と一緒に一度元気な顔で会えることがとても大切な事に思えます(13回/前田章子)◆倉恒先生には3年の時に担任でいつも掲載されているのを拝読し、少しも変わっていらっしゃなくて嬉しく思います。“先生、いつまでもお元気で”ネ(14回/小林千鶴子)◆「明石城武蔵の庭園」の整備にたずさわっています(14回/大橋正行)◆娘も結婚、孫1人生まれ、息子も年末に結婚の予定。ホットしている所です。私自身、仕事(ピアノ・大正琴の講師)をしており毎日充実した日々を過ごしております(14回/石井奈美)◆92歳の元気な姑と同居して5年、改めて年を重ねることの難しさそして私自身の老後をしっかり考えさせるこの頃です(14回/曾根崎悦子)◆上の息子が今年結婚し一息ついています。下の息子のお嫁さんが来るまでは落ちつきませんので良い方がおられたら御紹介ください(15回/守田綾子)◆当日は初孫出産予定日と重なってしまいました。退職をしスポーツクラブ・菜園にと「青春真っ只中です(16回/加納陽子)◆いろいろ御世話をありがとうございます。昨年暮から毎月のように両親介護で帰鳥しております(16回/松田かほる)◆父が亡くなつ

たためお正月からこっち、もう10回くらい帰省しました。ふしぎなもので又少しずつ鳥取弁がしゃべれるようになりました。ハハハ…!(17回/佐藤ひとみ)◆同居の母(姑様)の通院のため、30余年続けた教職を辞めました。当初は後ろ髪を引かれる思いもありましたが、今、午後は近くの大学へ聴講生で通い勤労センターで語学を学びスポーツジムで汗を流しと自分の時間として充実した日々を過ごしています。明日のこと、来月のこと、来年のこと…先のことはどうなるか分かりませんが今を楽しんでいます(17回/古井都)◆8/14に鳥取での同窓会に初めて参加しました。とても楽しい一時でした(19回/田中満男)◆退職前あと1年半を残すのみとなりました。再就職しても収入が大幅減少するので、今までの生活パターン(酒その他)を変えようと妻からやかましく毎日のように言われてますが、仲々すぐには変りません(19回/小谷利夫)◆田舎の親の介護の手伝いに帰省することが多くなりました(19回/松岡公子)◆無趣味が趣味から脱却したいと考えて10年。今だみつからず。手話、ハイキング、旅行等、やりたいことは多々あれど…(19回/横川ひとみ)◆今春、勤務先の異動のみで引き続き単身赴任(通算9年目)を続けています。今は白兎で2時間半であり、毎週末往復していますが、不便な地で異動になつたらどうしようと思う日々(19回/福田眞)◆3月末に都会(?)から田舎に引越ししました。緑に囲まれ野菜や花作りをしてのんびり暮らしています。10年前にお手伝いをさせて頂いてからはや10年も経ったですね(20回/三浦三千代)◆懐かしいお名前にあの頃がよみがえり行きたいなど思いつつ家庭の事情が許してくれません。ぎりぎりまで待っても…あきらめます。抱海先生まさか来ませんよね。逢いたいなあ(20回/吉岡ひさゑ)◆気が付いたら鳥取にすんでいた年数より福知山で過ごしている年数の方が長くなっていました。住めば都でここでの生活にもなじんでいますが、それでも何かの機会に鳥取という文字を見つけると心が和みます(24回/岸上真里)◆高2の娘が8月下旬から1年間の予定でアメリカに留学しています。メールでやりとりしたり小包も4日ほどで届くことを考えるとアメリカも近いなあ感じているこのごろです(28回/宿院真由美)◆今年、友人と富士山に登りました。高2の大山登山に想いをはせました(29回/大向恵子)◆今夏も家族4人で帰省しました。実家に着くや否や完全に鳥取弁に戻る私を見て娘達は目を丸くしています。関西住まいも20年ですが関西弁はほとんど身につかない私です(30回/大西紀子)

## 戦地で聞いた鳥取弁 悲惨な戦争体験を伝えたい

松田 定一（柏葉 19回）



私達、柏葉 19回生は日米戦争の始まった昭和 16年の入学で A B C の 3 クラス 150 名の同窓生です。1 年 2 学期の期末試験の最中 12 月 8 日、担任の遠藤先生からアメリカ・イギリスと戦争が始まつたと聞かされて子供心に気が引き締まつた覚えがあります。それから文字通り戦争一色の社会であり学校生活でした。小学校 1 年生から教育勅語を聞かされ天皇制に何の疑問も感じず、今の北朝鮮と同じで体制に反対する等の思いも、もちろんなく連日ハワイ攻撃に次ぐ戦火の拡大と勝利の報道に吾々も後に続くぞと心に決めての少年時代でした。

戦中戦後の話は、皆さんもいろんな形で耳に入っていると思いますので、私の 16 歳から 21 歳までの 5 年間を少し書いてみます。私は中学 3 年生の時に母が死去しました。肺結核でした。当時一番恐れていた病気でしたから自分の命も後一年…かと思い込み、4 年生の春、当時の陸軍に志願して入隊しました。航空通信学校で一年の教育を修了し満州(現中国の東北)の情報部隊に配属され、間もなく昭和 20 年 8 月 9 日ソ連軍の侵攻終戦となり捕虜になるのがいやで(当時の軍隊教育)逃げるだけ逃げようと、捕まつたら殺される…必死でした。

中国語がまだ話せませんので先輩について行くのが精一杯です。しかしソ連軍の捕虜になる迄の 20 日余りいろんな事をしました。見ました。窃盗、強盗、掠奪、殺人。これが戦争だと…。当時、中国共産党軍、中国国民党軍、日本軍、ソ連軍の入り交じった戦いがしばらく続いて、日本の民間人の方々の悲惨な姿は今でも目に焼きついています。

私達の逃亡も終わり近く、疲れ果てた頃、中国共産党軍に参加した(?)か 3 人程いなくなった。12 名が 9 名に。戦後復員して戦友に尋ねると帰つてないとのこと。多分死んだのだろう。昭和 20 年 9 月中頃、完全にソ連軍の傘下に入り、食事も 3 回支給され日本にいつ帰れるかと希望を持っての毎日でした。

20 年 11 月の初め貨物列車に乗せられて出発しましたが北へ北へと列車は走ります。途中で危ないシベリアに行くと感じて何人か逃亡した人もいます。1 カ月のシベリア鉄道旅でいろいろありましたが、収容所の到着は 12 月に入っています。場所は中央シベリアのオビ川の上流、カザフタン共和国の国境近く、レニンスククヅネキーという炭鉱町でした。

それから昭和 24 年 9 月末日までの 4 年間の生活の一部を書いてみます。1200 名位の捕虜収容所の生活です。まず虱とのたたかいから。列車ですでにわいていて痒かったのですが、収容所に入つてばたばたと死者が出ます。虱(シラミ)の媒介で発疹チフスが広がりました。死者の大半はこの病と栄養失調です。虱、南京虫等の説明が必要ですが大半は寄生虫の部類と思って下さい。

炭坑の中でまた道中でドイツ人、ハンガリー人、ルーマニア人等の捕虜も沢山ましたが 2・3 ヶ月の間に他に移動したか見なくなつた。

その頃少し私共の後から収容所に来た人の中に鳥取弁の独特的のイントネーションの言葉の人が居て、尋ねたら母校鳥取二中から鳥取高農(鳥大)学徒出陣の岩瀬さんでした。4 年先輩ですから面識はありませんが先生のアダ名、ニコさん、ネコさん等懐かしく語りあつたのを今でも覚えております。配置移動で離れたりしましたが、彼は私よりも 1 年早く復員して私も帰つてから何度かお会いしました。私が大阪に就職してからご無沙汰です。お元気でしょうか。

4 年間の労働に耐えて生きのびて帰つた。青春をぶつけた。誰にも喜ばれない。あの戦争と捕虜は何であったのか。またこりもせずイラクに兵隊を出した。何の目的、そして何時終わるの。歴史は繰り返すというが、またという思いがする。解放され復員して 55 年になるが戦争の悲惨を伝えて行くのが私共の責任と頑張ってきた戦友も、ぼつりぼつりと死んでいきます。さびしいですが自然の流れです。

シベリア生活も少し書きたいと思いましたが長文になりますので次の機会にします。

次の東雲会で在阪の同級生、定久、河上、中尾、森本等の顔を見るのが楽しみです。

(写真は昭和 11 年当時の二中。銃の手入れ)

## 丹波紀行 「老後」を「朗後」に

### その1 ガッツンガッツン

鈴木 亮介 (山脈 11回)



「今年の正月は天気がいいなあ。母さん、3日は瑞穂町に行こうか。」「うん。いいよ。」

正月といつてもこれといってすることのない我々夫婦は天気予報を確かめながら瑞穂町に行っている。そこには、00年7月に購入し01年3月からジャガイモを植え始めた畑がある。

今日は畦の一部をツルハシで深く掘り起こし、実質の畦を高くしようとしていた。ところがどういうわけか今日のツルハシは振り下ろすときに先がぐらついてバランスが取りにくかった。



正月のせいかなあと思いながらツルハシをよく見ると、トグワとツルハシの長さに

かなり差があることに気づいた。測ってみるとほとんど使っていないトグワが19センチあるのにツルハシは14センチしかなかった。買ったときは同じだったのにこんなにチビてしまっている。よくやったものだなあと感心した。そういえばある頃から妻が言っていた。「退職してから父さんのガッツン人生が始まった」と。

この土地は石が多くて硬くツルハシを振り下ろすたびにガッツンガッツンと音がするのです。まるで38年間のサラリーマン生活で溜まったウップンを晴らすかのように意地になって地面にぶつけているように見えたようです。

そのために03年5月にはギックリ腰になり一ヶ

月程ガッツンができなかつた。それでも続けたため、今度は左右の肘や手首が順番に痛くなつていった。そうこうしているうちに、こんなにチビてしまつた。そのガッツンも今年(04年)の3月でほぼ終わつた。

京都府瑞穂町、いわゆる丹波地方に購入したこの土地は、地目山林です。30年程前に宅地造成の工事が行われ区画整理はしてあるものの建設会社が潰れ、宅地になつていない土地なのです。

ガッツンした面積をざっと計算して見ると、66坪のうち、ミニログハウス(小屋)、休憩所(東屋)、池、通路そして斜面部分を除いて30坪程の面積を、3年かけて20センチ位掘り起こしたことになります。02年夏までは落葉を集めて堆肥を作り、畦の底に埋めていたのですが、年に1回しか作れず、それも限られた量しかできないので作物のデキはそれほど良くなかった。その年の秋、妻が突然言い出した。「道端に溜まっている自然にできた堆肥を集めたらどうだろう」って。「そうやなあやってみよう。」

ここ箕面市から瑞穂町へ行く道は、勝尾寺を通って423号線に出て亀岡から9号線を走るのですが、勝尾寺付近の道端には落葉と土が混ざった堆肥が沢山できている。これを土嚢に詰め、1回に3袋づつ運んだ。もう、100袋は運んだ計算になる。そして、我が家で出る生ごみはすべてここに運び堆肥メーカーに入れている。そのおかげか、写真のようなキャベツができるようになった。白菜もこれに負けないくらいのものができた。もちろん、これらの外葉は全部食べている。無農薬で作ったこの外葉が食べたくて作っているようなものだ。

01年1月から04年3月  
(本稿を書いた日)までに瑞穂町に通った回数は242回です。片道1時間半かけて。

私は58歳の頃から自分の人生を三つに区切って考えるようになりました。

第一は30歳まで親の保護のもとに成長し、自分で自分を鍛えた時代。第二は結婚し、子供を育てた時代。そして第三は、60歳の退職以後で、夫婦で共通の楽しみを持ち、共に老いていく時代です。70歳からの老後を朗後にするために、まだ体力のある今のうちに土地を耕し、野菜が摂れ、果実が実る土壤づくりをしているところです。



## 会費(寄付)ご協力のお願い

本年度も京阪神東雲会運営費として会員の皆様に年次会費(寄付)一口1,000円の出捐をお願いしております。総会に参加される方からは、当日参加費用に含めて会費を頂きます。昨年は当日参加の方々を含めて354名の方々からご協力を得ました。厚く御礼申し上げます。因みに本年6月26日現在の会費残高が755,591円となっております。会費(寄付)振込先は次の通りです。

(会長 上林武夫・会計幹事 中原修市)

郵便振込「口座番号 00940-2-133540

加入者名 京阪神東雲会」

## ホームページで交流を 『京阪神東雲の窓』

同窓生の交流を目的に、ホームページを作成しています。Urlは次の通りです。

<http://www.asahi-net.or.jp/~hf3s-okd/higashi/index.htm>

徐々に書き込みも増えてきました。今までの会報のバックナンバーの紹介や、総会の画像もアップされています。会報の感想や同窓会情報など、会員の皆さんとの気楽な情報交換の場としてご利用下さい。

運営者 岡田(MAIL [toshi-o@momo.so-net.ne.jp](mailto:toshi-o@momo.so-net.ne.jp))

## 平成15年度の会計報告

平成15年度 総会関係会計 円

費目	収入	支出	残高
前年度繰越金	79,584		
総会会費	680,000		
寄付金会計、雑収入	68,110		
総会費		668,765	
会議費		70,052	
通信費		8,900	
その他		24,377	
会計	827,694	772,094	55,600

寄付金会計 円

費目	収入	支出	残高
前年度繰越金	707,275		
15年度寄付金入	358,490		
会報編集通信費		10,105	
総会案内文作成送料等		235,069	
その他		65,000	
合計	1,065,765	310,174	755,591

### 【京阪神支部最新名簿の販売のお知らせ】

総会案内にもありますように郵便振込みで事前に申し込んでいただければ、最新の本年度版の京阪神支部の会員名簿をお渡しできます。欠席だが郵送で求めたいという方は、1000円を郵便振込みしていただければ別途郵送いたします。最新版にしますので発送は総会後となります。

### ●編集後記●

◆第6号と7号を比較して気づかれたことがあると思います。返信葉書の「近況報告」の量が増えたことです。会報が回を重ねるに従い、近況欄が注目を浴びた結果だと思います。7号ではできるだけ多く収録し特集としました。◆同窓会館が完成し、資料室もできました。火と木の午前9時から5時までは同窓会専従担当者が常駐。帰省の折など連絡をとり訪問されてはどうでしょうか。正門の周辺もすっかりかわりました。倉恒先生の思い出シリーズでは周辺の変遷についてまとめて頂きました。◆8月7日には母校本部の総会へ参加しました。しっかりと京阪神支部総会の準備の様子を話しました。今回の本部総会では、同窓会館設置に伴う事務局の充実・財政基盤強化のため東雲会協力金制度の発足・東雲会報(仮称・12頁)を送付するなど重要議案が審議されました。

(▼写真は本部懇親会 04/08/07)



◆今年も日ごろの関西弁を忘れて鳥取弁のシャワーを浴びる総会の季節が巡ってきました。11月20日(土)「リバーサイドホテル」へ集いましょう。《お》題字は上田先輩(柏11回)、カットは山崎氏(山12回)によります。(お)

# 古代東高 思い出シリーズ 東高校門あたり

## 第七回

倉恒 貞夫

(本部同窓会副会長・山脈3回)

今年、平成16年6月23日は東高創立81周年の創立記念日ということでした。

鳥取第二中学校は、「文部省告示第467号(大正11年6月20日)によると大正12年4月より開校の件許可されているので、大正13年の2年に、今年は昭和79年になる(西暦2004年から25を引いた端の数字が79となる)79を加えて計81が出来ます。

昨年の創立80周年記念の事業で、校門前に『しののめ館』ができました。2階建てで、2階の一部に同窓会資料室も設けられています。ここは同窓会館が建ててあった場所で、整地をしたとき「五輪さん」が出てきました。「五輪さん」というのは、昔の人の墓石で誰かがまつられていた印です。

昭和24年のころは、このあたりに正門に向かって左側は凹地みたいで、ゴミ捨て場になっていたようです。時に、何か醤油の滓みたいなものが捨てられたりして、これが随分匂っていたこともあります。そのうち埋め立てられ、まず昭和27年に、同窓会の30周年記念事業の意識で、畳敷きの徳田記念館が、同窓会40万、PTA60万円負担で作られました。各種会合はもとより、運動部の合宿などいろいろ有効に使われました。徳田記念館は現在は研修館となっています。思い出のある方も多いのではないでしょうか。

昭和38年には、その隣に同窓会館が、創立40周年記念事業として作られましたが、この建物が今回創立80周年記念事業の一環として建てかえられ、「しののめ館」となったわけです。

道路をへだてて反対側に食堂がありますが、これは昭和36年12月に落成(全額PTA負担)で、

ずい分古くなりました。この時道路沿いにイチヨウの苗木を植えました。私も植えるのを手伝った覚えがあります—それからもう40年以上経つわけで、大きな樹になっています。秋には黄色くモミジし、葉が落ちるころには、道路一面黄色の絨毯を敷きつめたようになります。また、銀杏の実が落ちるので、それを拾いに来る人も毎日、何人かあるようです。

食堂の向かって左側の一部が購買になって文房具類、パン、飲物なども売っています。ここらあたり杉の木がありました。一、二本は残って大きくなっていますが昔の橋から正門に至る道路沿いに植えてあったものだそうで、この杉の木が切られてない間は学校祭のアーチ用に枝を切って使ったりしていました。

玄関あたりに松が植えてありますが、二中創立当時、高橋重友先生(柏8)が、お兄さんの富山義直先生(柏1)とリヤカーで運んで来て植えたと言っておられた樹ですが、残っているでしょうか。枯れた樹もあるようですが、創立60周年記念事業(前庭、並びに憩いの森)で、松を補植しましたが、中にはあまり元気でない樹もあるようです。ここに松を植えることについては、柏2内田稻吉氏が、マツクイムシの関係を考えて松紅葉(マツモミジ)になるからだめだといって大反対をしておられたのを思い出します。

今は建て替えられて、なくなりましたが、玄関に向かって建物の右端に鉄筋校舎がありました。

これは、鳥取県下で最初の鉄筋校舎でした。三階建、六教室 昭和30年に落成しました。工費1200万円。しかし、地元負担金が必要で、PTA70万円、篤志寄付40万。この金を集めため、東高を卒業し、当時学生であった私たちのところまで、募金の依頼が来たりもしました。今では考えられないことではないでしょうか。

出来上がった昭和30年には、3年生となった7回生がまず最初の生徒として使用しました。しかし、平成5年ごろから校舎の増改築が始まりグランドに仮設校舎を建てて、生徒はそちらで勉強するようになり、いわゆる<旧鉄筋>は取り去られ、平成6年7月、管理棟完成、保健室・職員室などに姿を変えました。

